

平成26年度 電気工学科 卒業研究発表会

場所: 釧路工業高等専門学校 大講義室

日時: 平成27年 2月5日(木) 9時00分 ~ (昼休み: 12時10分~13時00分)

開会挨拶 ~9時5分

区分	No.	学生氏名	卒業研究発表テーマ	指導教員名	発表順番	ページ
研究室 個別	5	小野寺 太玖朗	海氷のレーダ画像の3次元再構築	高木敏幸	1	55- 60
	16	佐藤 友梨	画像処理による植物プランクトンの分類定量システムの開発	高木敏幸	2	61- 66
	15	佐藤 司	船舶レーダ画像を用いた氷海における最適航路の探索	高木敏幸	3	67- 72
	31	山口 省吾	意思疎通支援用PICツールの開発 - 携帯型端末への移植検討 -	佐藤英樹	4	205-210
	8	日下部 譲太郎	碍子絶縁特性の予測 - 重回帰分析に類似湿度抽出を付加した場合について -	佐藤英樹	5	211-216
	27	丸田 大貴	碍子絶縁特性の予測 - ロジスティクス回帰による事故発生危険度推定の試行 -	佐藤英樹	6	217-221
休憩 5分(10:05-10:10)						
研究室 代表	24	田村 祐弥	北極海における船舶のシミュレーション	高木敏幸	7	1- 6
	28	三浦 拓也	視線測定を用いたデザイン評価システムの開発	野口孝文	8	7- 12
	21	瀬戸 敬太	超小型衛星のシステム設計	小松正明	9	13- 18
	23	竹澤 由太	市販計測機器を用いたリハビリシステムの機能拡張	千田和範	10	19- 24
	36	和田 陵	一般相対論にもとづく宇宙の進化の研究	鈴木俊哉	11	25- 30
	19	新保 雄大	サケマス稚魚の元気度評価のためのトラッキングシステムの開発	本田 匠	12	31- 36
	4	小川 波留希	特別支援学校の理科実験で使用する色識別装置の試作	佐々木敦	13	37- 42
	1	稲邊 秀斗	ヘリウム大気圧プラズマの電子温度測定	斎藤誠紀	14	43- 48
	20	瀬川 修斗	意思疎通支援用PICツールの開発 - パーソナルコンピュータ版の開発 -	佐藤英樹	15	49- 54
研究室 個別	18	下野 佑一	ロボットを用いたプログラミング教材の開発	野口孝文	16	73- 78
	29	村上 広明	小型ロボットNAOを用いた案内ロボットの開発	野口孝文	17	79- 84
	34	芳浪 祐太	レゴEV3のためのWindowsアプリケーションの開発	野口孝文	18	85- 90
昼休み(12:10 - 13:00)						
研究室 個別	9	小嶋 祐貴	気象衛星NOAA簡易受信機の製作と運用評価	小松正明	19	91- 96
	26	マニメルワドゥ サハン ドゥラーラ	磁界共鳴方式ワイヤレス給電の研究	小松正明	20	97-102
	37	渡辺 太陽	NOAA気象衛星画像解析	小松正明	21	103-108
	12	斎藤 雄太	理科啓蒙教材の開発	千田和範	22	109-114
	3	小笠原 凌	EVカート用ブラシレスDCモーターの動作制御	千田和範	23	115-120
	25	土田 晃平	プログラマブルターミナルを用いたデータ表示	千田和範	24	121-126
	6	金石 史久	B-Labプログラムでの重いメソンの探索	鈴木俊哉	25	127-132
	17	澤田 光平	B-Labプログラムでのバリオンの探索	鈴木俊哉	26	133-138
35	米沢 颯	一般相対論にもとづく重力波の研究	鈴木俊哉	27	139-144	
休憩 10分(14:30-14:40)						
研究室 個別	7	川村 将也	kinectを用いたジェスチャー認識の開発	本田 匠	28	145-150
	2	遠藤 徹	FDTDを用いた電磁波解析の検討	本田 匠	29	151-156
	22	高橋 凌祐	カラー情報を用いた画像照合の検討	本田 匠	30	157-162
	33	吉田 匠汰	スポーツ試合解析のためのボール追跡手法の検討	本田 匠	31	163-168
	10	後藤 拓己	介護施設の支援機器のニーズ調査とプロトタイプ開発	佐々木敦	32	169-174
	11	小松 晃大	発光型表示機の読み取り装置の開発	佐々木敦	33	175-180
	30	森田 直斗	プラズマ装置の電極系の設計	佐々木敦	34	181-186
	13	坂上 了太	核融合炉材料シミュレーションコードへのタングステンポテンシャルの導入	斎藤誠紀	35	187-192
	14	佐々本 峻弘	グラファイト内での水素原子挙動の解明	斎藤誠紀	36	193-198
	32	吉田 健太	Fuzz構造を有するタングステンへのヘリウムプラズマ照射シミュレーション	斎藤誠紀	37	199-204

※ 発表時間 7分, 質疑応答 3分

※ テーマは変更になる場合があります。